

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
京浜盃	2019/3/20	SII	大井	1700m	ミドルペース	良	能力比較

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	ヒカリオーツ	牡3	56	瀧川	フリオーツ	ロベルト系	サウスヴィグラス	ミスプロ系	A	B	B	C	B	B	○	
2	2	ホールドユアハンド	牡3	56	矢野	エスポワールシチー	サンデー系	ゼンノメイジン	ミスプロ系	C	A	C	C	C	C		
3	3	キングイモン	牡3	56	達城	パイロ	ナスルーラ系	アグネスタキオン	サンデー系	D	C	C	C	C	C		
	4	グラビテーション	牡3	56	今野	ベルシャザール	ミスプロ系	エンドスウィープ	ミスプロ系	C	C	B	B	C	B	×1	
4	5	ホホワイトヘッド	牡3	56	本橋	ダンカーク	ミスプロ系	ステイゴールド	サンデー系	D	C	C	B	C	C		
	6	ステップンウルフ	牡3	56	御神本	サウスヴィグラス	ミスプロ系	アグネスタキオン	サンデー系	B	A	B	B	B	A	◎	
5	7	オーシャンブラック	牡3	56	西	ストロングリターン	ロベルト系	ジェニユイン	サンデー系	D	C	C	C	C	C		
	8	アギト	牡3	56	左海	トゥザグロリー	ミスプロ系	ブライアンズタイム	ロベルト系	C	C	B	B	C	B	△2	
6	9	レベルフォー	牡3	56	石崎駿	リーチザクラウン	サンデー系	フレンチデピュティ	ノーザン系	D	B	D	C	C	C		
	10	シビックヴァーゴ	牡3	56	笹川	バゴ	ナスルーラ系	ジャングルポケット	ナスルーラ系	C	C	B	B	C	B	△3	
7	11	ジョーパイロライト	牡3	56	張田	パイロ	ナスルーラ系	ダイワメジャー	サンデー系	D	B	C	B	C	C		
	12	マイコート	牡3	56	繁田	ロジユニヴァース	サンデー系	アラムシャー	ノーザン系	C	C	C	B	C	C		
8	13	ウィンターフェル	牡3	56	森	ダンノンバロード	サンデー系	プリサイスエンド	ミスプロ系	B	A	B	B	B	B	△1	
	14	カジノフォンテン	牡3	56	本田	カジノドライブ	ナスルーラ系	ベストタイアップ	ノーザン系	A	B	B	B	B	B	▲	

隊列図	見解	ラップタイム
ヒカリ オーシ ウィン カジノ シビッ マイコ アギト ハイペース	<p>ミュウチャリーこそ不在も、雲取賞の1、3、4着馬がそろった京浜盃。新興勢力のステップンウルフ、道営から転入してきたウィンターフェルなども上位人気に推されそうだが、まずは京浜盃のレースをどう見るかがカギになりそう。ヒカリオーツが重賞連勝でクラシックの主役に躍り出るのか、それとも別の馬がクラシックの有力候補に新たに名乗りを上げるのか。早速、予想にいきましょう。</p> <p>本命は成長著しいステップンウルフの一撃に期待。南関東に転入してから1戦ごとにパフォーマンスを上げており、良血らしく非常に将来性を感じさせる馬。2走前の若獅子特別では50.0-54.0、フリオーツ・メモリアルでは50.6-52.8のハイペースを横綱相撲で完勝。相手が来れば、まだまだ伸びそうな手応えで、着差、時計以上に強い内容だった。(以下省略)</p>	

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	ヒカリオーソ	○	前走雲取賞は展開、馬場を味方につけての勝利とはいえ、斤量57キロ、上りも全体の2位でまとめており、逃げて差したような競馬。鞍上いづく遊びながら勝ったらしく、まだ上昇の余地がありそう。		
2	2	ホールドユアハンド		JRAの福島ダート1150mでデビュー勝ちを果たした馬。スピード優位のタイプで、浦和や川崎のような小回りコースが合っている。今回は川崎1600m→大井1700mと条件悪化。相手関係を考えても苦戦するはず。		
3	3	キングイモン		JRA未勝利で南関東に転入して2連勝。移籍が吉と出たが、前走ムスカリ特別でオープンにぶつかった。重賞では荷が重い。		
	4	グラビテーション	×1	前走雲取賞で11着と大敗したが、それまでは【1.0.3.0】と大崩れなく走り、上がりはすべて3位以内にまとめていた馬。本質的に大井外回りの中距離戦は向いているはずで、前走の大敗で人気さがさらに落ちるなら押さえておきたい。		
4	5	ホワイトヘッド		北海道2歳優駿4着とはいえ、そもそもJRA勢のレベルが低く（当時、JRA勢の最先着馬は3着ミヤケ）、事実上の地方馬限定レースだった。ウィンターフェル、マイコートより格下なのは明らか。上位争いは難しいだろう。		
	6	ステッペンウルフ	◎	南関東に転入してから1戦ごとにパフォーマンスを上げており、良血らしく非常に将来性を感じさせる馬。2走前の若獅子特別では50.0-54.0、フリオソ・メモリアルでは50.6-52.8のハイペースを横綱相撲で完勝。相手が来れば、まだまだ伸びそうな手応えて、着差、時計以上に強い内容だった。		
5	7	オーシャンブラック		2走前の雲取賞では最下位の16着に大敗。当時、自分の形を作れず、度外視可能とはいえ、能力不足だったのも事実。今回も同様に強力なヒカリオーソ。前々で運べたとしても厳しいレースになるだろう。		
	8	アギト	△2	前走雲取賞で4着に健闘。3着カジノフォンテンから7馬身も離されていたが、やや特殊な馬場でもあり、字面通りに受け取る必要はないか。重賞では平和賞5着、ニューイヤークップ5着、雲取賞4着とあと一歩の競馬が続いているが、展開次第で馬券圏内ならあってもいい。		
6	9	レベルフォー		これまでレースぶりから短距離志向が強い馬。距離短縮時に狙いたい。		
	10	シビックヴァーゴ	△3	前走ハイセイコー記念で2着に好走。当時の勝ち馬ラプラスは雲取賞で5着に入っており、仮に本馬が雲取賞に出走していたら掲示板に入れるかどうかの走りを見せていた可能性がある。母系はスカレットブークの一族。まだ奥の深さもありそう。		
7	11	ジョーパイロライト		南関東に転入後、2戦2勝とまだ底を見せていないが、前走春一番特別の勝ち時計1分44秒6は、前日の東京中日スポーツつばき賞でホールドユアハンドがマークした時計（1分42秒7）をはるかに下回る。このメンバーでは荷が重いらしい。		
	12	マイコート		近2走が雲取賞8着、クラシクトライアル10着とピリッとせず。2戦とも特殊な重～不良馬場だったが、それだけで度外視していいか微妙。血統的に淡白な面があり、ガラリイ姿を望むのは酷では。		
8	13	ウィンターフェル	△1	前走全日本2歳優駿では雲取賞でワンツを決めたヒカリオーソ（7着）、ミュウチャリー（6着）に先着し、地方馬で唯一の掲示板入り。実績を考えれば、このメンバーに入っても見劣りすることはない。森騎手はステッペンウルフではなく、休み明けの本馬を選択。それだけ期待が高いということだろう。		
	14	カジノフォンテン	▲	前走雲取賞では勝ち馬ヒカリオーソから0.6秒差の3着。斤量は本馬の方が2キロ軽かったため、客観的な数字だけ見れば、完敗といえる。ただし、当時は内伸び馬場。終始、内から3頭分ほど外を回っていた本馬はヒカリオーソより厳しい競馬をしていたのは明らかだろう。		